



大阪市立 南百済小学校

- 所在地 湯里1-15-40
- 電話番号 06-6701-0207
- HPアドレス <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e741695>
- 校長 二俣 峰雄
- 標準服 あり
- 集団登校 あり



学校概要

校訓: 自主 創造 協同 責任
教育目標: 確かな学力・豊かな人間性・
 心身ともに健康な子ども

学校生活の合言葉

①いのち一番 ②にこにこ二番 ③サンキュー三番

めざす子ども像

- 自ら学ぶ子ども(学力向上)
- 互いの違いを認め合える子ども(道徳心・社会性の育成)
- いきいきと生活する子ども(健康・体力の保持増進)
 (すべての教育活動の基盤に人権教育の精神を)

運営に関する計画

【安心・安全な教育の推進】

- いじめ解消の取り組み充実
- 自尊感情の醸成を目指す取り組み

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 国語科、算数科の学力向上
- 話し合い活動の充実
- 少人数指導、個に応じた指導の充実
- 投の運動に関する企画や環境の整備

【学びを支える教育環境の充実】

- 学習者用端末の積極的活用
- 読書活動の充実
- 教職員の健康的な働き方の追求

全国学力・学習状況調査結果(令和6年度)

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

	国語	算数
平均正答率(%)	66	62

【国語】

無答率では全国平均4.2%に対し、本校は2.9%と問題に対して粘り強く回答しようとしていることが成果と言える。情報の扱い方に関する知識及び技能を問われる問題では、正答率92.3%と高い結果を残した。読むことに関しては全国平均を上回り、確実に力をつけているが、話すこと・聞くことの技能を身に着けるための工夫が必要である。

【算数】

国語同様に、無答率が全国平均3.4%に対して、1.9%と根気よく問題に取り組んでいる。数と計算領域では正答率94.9%と高い正解率をほこる問題がある一方、変化と関係領域において全国平均から3.4ポイント低い問題もある。速さの意味について復習したり、道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し説明する力などをつけていく必要がある。

児童数・学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	82	73	87	98	74	80	494
学級数	3	2	3	3	3	3	17
特別支援学級							8

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(令和6年度)

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

種目別 平均値	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
	男子	14.94	14.83	36.00	38.25	45.76	9.41	143.69	19.65	48.48
	女子	16.42	15.48	44.53	37.23	41.90	9.16	140.18	12.82	55.43

令和5年度までは「走」に力を入れ、体育科の学習の際に「おに遊び」など「走」に関する運動を多く取り組んできた。その結果「50m走」では男女ともに大阪市平均・全国平均を上回る結果となり、また「20mシャトルラン」では女子が大阪市平均・全国平均を上回る結果となった。

令和5年度「ソフトボール投げ」では男子が約7m、女子が約3m全国平均を下回る結果となっていたので、令和6年度からは、「投」に力を入れて取り組んでいる。1学期には、数名でグループを組み、ソフトボールを1球ずつ投げ150mぴったりになるようにするという取り組みを行ったり、2学期には「学年対抗の玉入れ大会」を行ったりし、投げることに親しむことができた。今後は、ボールの投げ方などを系統立てて指導できるように取り組んでいく。

学校の沿革のうち、特筆すべき事項

明治7(1874)年林覚寺という校区にあるお寺に仮の教室を設け、住吉郡4番小学校として開校。その翌年に校舎が湯谷島という所に建設されました。やがて、東田辺・鷹合・今川・湯里の各小学校が本校から分離・独立していきます。平成23(2011)年度には中運動場が芝生化。昨年6月1日には創立150周年を迎え、地域一帯で祝賀記念を行いました。



家庭・地域との連携

- 地域のボランティア「南百済グリーンクラブ」の方々が、子ども達が安心して遊べる中運動場(なかうん)の芝生を管理してくださり、年中ふかふかな芝生で遊ぶことができます。キッズサポーターとしてお手伝いをして参加する子どももいます。
- 毎月の土曜日に「ふれあい食堂」と「芝生食堂」がそれぞれ1度開催されます。子ども達の「居場所」「子育て中の親のリフレッシュの場」として利用でき、家庭・地域が連携し、一丸となって子どもや保護者の方々を見守って頂いています。



学校の施設、校舎、運動場の面積

南百済小学校には「なかうん」、「ひがうん」という愛称で親しまれている2つの運動場があります。前者が中運動場で、平成23(2011)年度に芝生化。児童は芝生の感触を確かめながら鬼ごっこなどを楽しんでいます。後者の東運動場では、広大な敷地を生かして、サッカーやドッジボールなどの球技を楽しんでいます。土曜日には児童が安心して遊べるようにと校庭が開放されます。ソフトボール、サッカー、バスケットボールなどの社会体育も盛んに行われています。令和11年度には、現在の東運動場に5階建ての新校舎が完成予定。同時に新体育館、新プールも建設される予定です。



まもるんジャー

南百済地域では「子どもの安全に関わる積極的な活動を!」という気運が高まり、平成17(2005)年4月、学校・保護者・地域がネットワークを組んで、学校支援見守り隊「まもるんジャー」が結成されました。黄緑色のゼッケンやジャンパーを着た地域住民の多くの方々がPTA校外指導委員の方々と協力しながら、「ごほうびは子どもたちの笑顔」を合言葉にして、子ども達の登下校を毎日見守っています。毎年4月には、まもるんジャーの方々との対面式を行い、一緒に下校するのが恒例となっています。

総合的な学習の時間の内容その他教科・領域等の教育に関する情報

南百済小学校では、ゲストティーチャーを招へいして数々の出前授業を行っています。2年生の「昔遊び体験」では地域の方々にけん玉、ビー玉、お手玉などの昔遊びを、3年生の「昔の道具体験」では洗濯板での洗濯や七輪を使ったもち焼きなどを教えていただきます。

創立150周年記念式典

令和6年6月、創立150周年記念式典を挙行了しました。毎年運動会で5年生が演技する南百ソーランの法被が記念事業委員会よりプレゼントされ、式典でお披露目の演技を行いました。新しい伝統として、歴代の5年生に引き継がれていく予定です。

